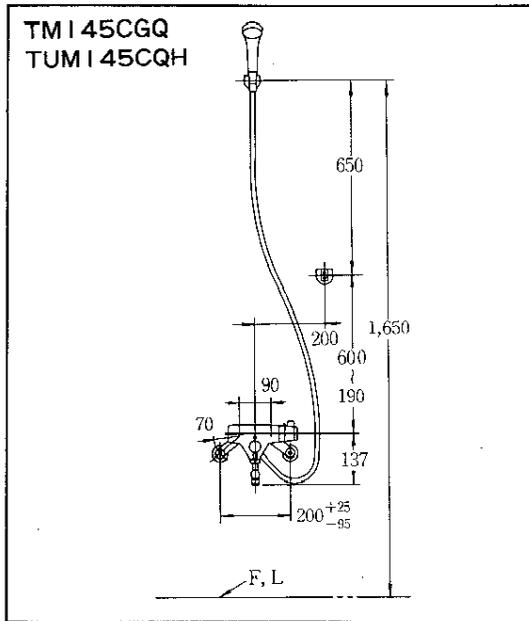


サーモスタットシャワーバス金具取付説明書

完 成 図



※品番によっては図と現品の形状が一部異なることがあります。

使用条件

1. 使用水圧

(1)ガス瞬間湯沸器と組み合わせる場合

給水圧力 ———— { 最低必要水圧……(表参照)
最高水圧……………6.0kgf/cm²

湯沸器号数	最低必要水圧
8号	湯沸器の最低作動水圧+0.6kgf/cm ²
10号	〃 +0.8kgf/cm ²
12号	〃 +1.1kgf/cm ²

能力切替式湯沸器で次の号数に切替えられる場合

5号	湯沸器の最低作動水圧+0.4kgf/cm ²
8号	〃 +0.7kgf/cm ²
10号	〃 +0.9kgf/cm ²

以上は下記条件を想定して求めた水圧です。

- 切替ハンドルは全開
- 湯沸器温度調節は「高温」に設定
- 夏季水温 25℃
- 給湯配管長 5m
- シャワー吐水温度 42℃

(2)石油瞬間湯沸器及び貯湯式温水器と組み合わせる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力 0.5kgf/cm²
最高圧力…… 6.0kgf/cm²

(a)給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。

(b)給水圧力が6.0kgf/cm²を越える場合は、市販の減圧弁で2.0kgf/cm²程度に減圧してください。

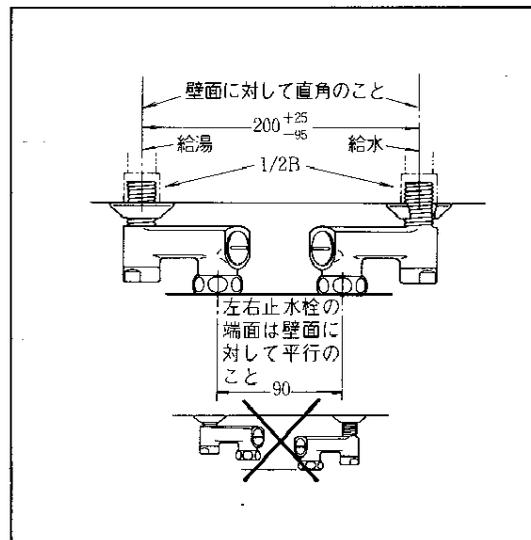
- 給湯温度は使用する温度より10℃以上高くしてください。ただし約70℃以上の温水は出ないようにしてあります。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- 湯・水を逆配管しないでください。
なお給湯器からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管してください。配管後は必ず保温材を巻いてください。

器具の取付け

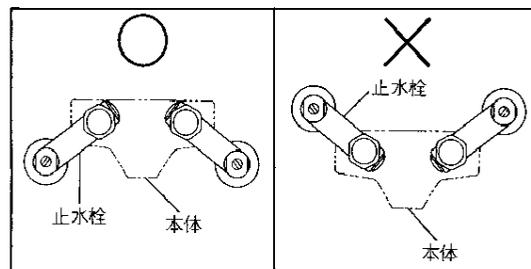
1. 給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

2. 止水栓の取付け

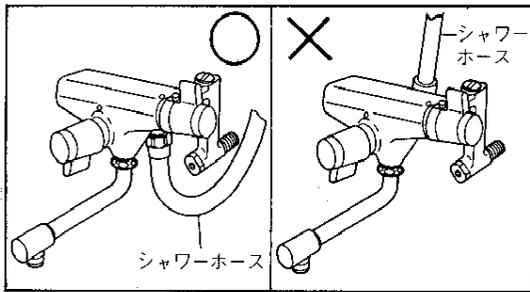


※止水栓の取付位置が本体よりも上になるとストレーナの着脱ができませんので必ず下になるように取付けてください。



3. シャワーホースの取付け

- 本体を止水栓に接続する前にシャワーホースを本体に取付けてください。
- シャワーホースは止水栓の下から取り出してください。



- (3) 温度調節ハンドルの“40”の目盛を赤色ポイントに合わせてハンドルをはめ、小ねじで固定しキャップをはめる。

ストレーナの掃除

ストレーナがつまると吐水量が少なくなったり水又は熱湯しか出なくなるなど十分な機能が發揮されなくなります。器具取付後は、必ずストレーナを掃除してください。

また、お客様にもときどき掃除していただくようにご指導願います。

お手入れ

めっきされた器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

- 常に柔らかな布でみがき、ときにはミシン油やカーワックスなどをしませた布でふくこと。
- クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
- 酸性洗剤はめっきを侵しますので、使用しないこと。もし、タイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分に水洗いすること。

温度調節

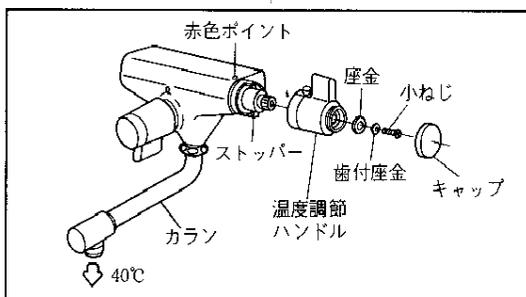
工場では温度調節をしていますが取付現場の圧力状況などによって、ダイヤル通りの吐水温度にならない場合があります。その場合は次の要領で調節してください。

調節する前に次のことを確かめてください。

- 止水栓は全開になっているか。
- ストレーナのごみづまりはないか。
- 十分な温度の湯がきているか。

●調節要領

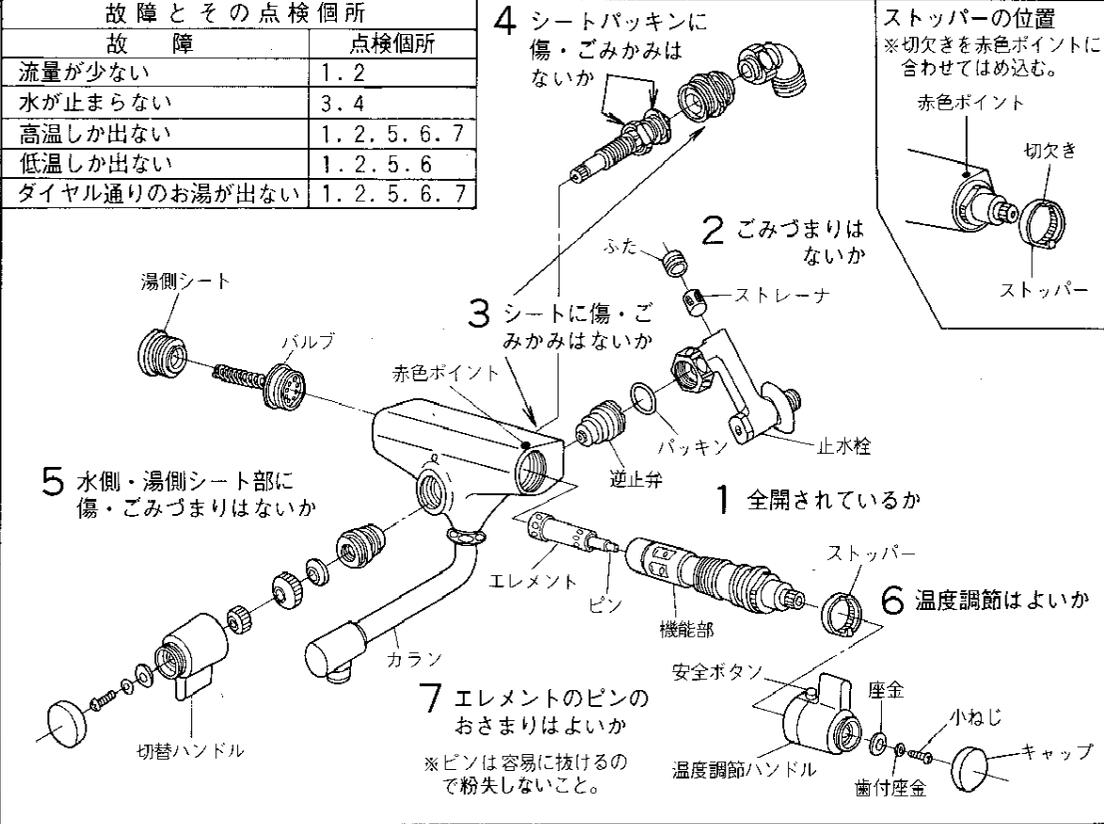
- カランより吐水させて温度調節ハンドルの目盛に関係なく40℃の湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回す。なお、高温側へ回すときは安全ボタンを押してください。
- その位置で温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ、小ねじを外しハンドルを抜き取る。なお、ストッパーが外れたときは、分解と点検の項に示す位置に正しくはめてください。



分解と点検

取付後万一故障などで分解するときは、次の要領で行ってください。

故障とその点検箇所	
故障	点検箇所
流量が少ない	1. 2
水が止まらない	3. 4
高温しか出ない	1. 2. 5. 6. 7
低温しか出ない	1. 2. 5. 6
ダイヤル通りのお湯が出ない	1. 2. 5. 6. 7



1 全開されているか

2 ごみづまりはないか

3 シートに傷・ごみかみはないか

4 シートパッキンに傷・ごみかみはないか

5 水側・湯側シート部に傷・ごみづまりはないか

6 温度調節はよいか

7 エレメントのピンのおさまりはよいか
※ピンは容易に抜けるので紛失しないこと。

ストッパーの位置
※切欠きを赤色ポイントに合わせてはめ込む。

赤色ポイント

切欠き

ストッパー

湯側シート

バルブ

ふた

ストレーナ

止水栓

逆止弁

パッキン

エレメント

ピン

機能部

安全ボタン

座金

小ねじ

キャップ

歯付座金

温度調節ハンドル

切替ハンドル

カラシ